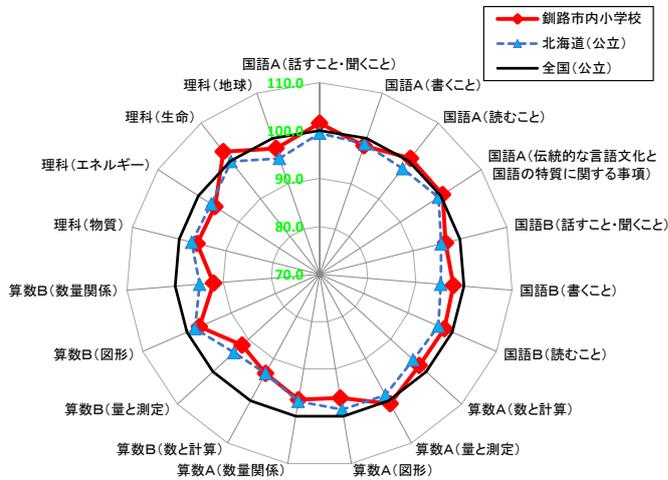


■ 釧路市内小学校の状況及び学力向上策(学校数:26校、児童数:1224人)

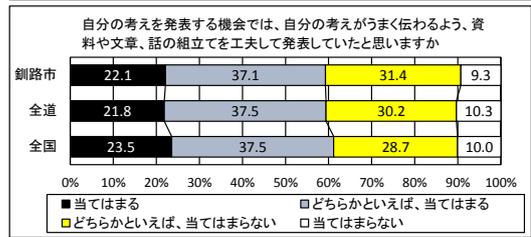
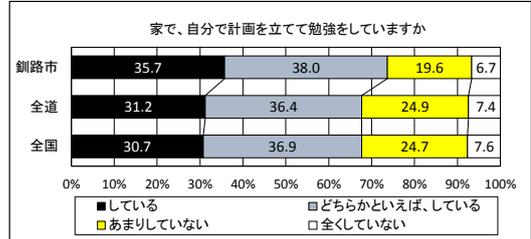
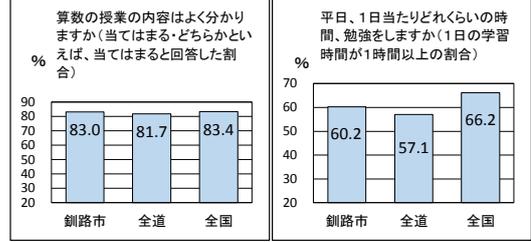
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

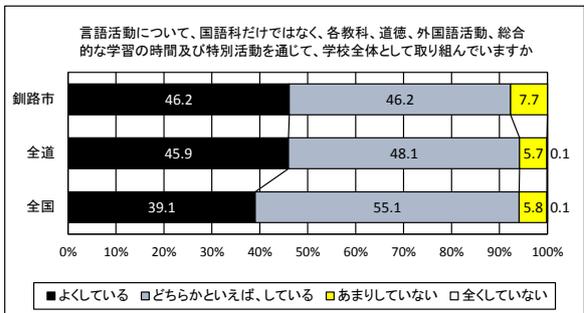
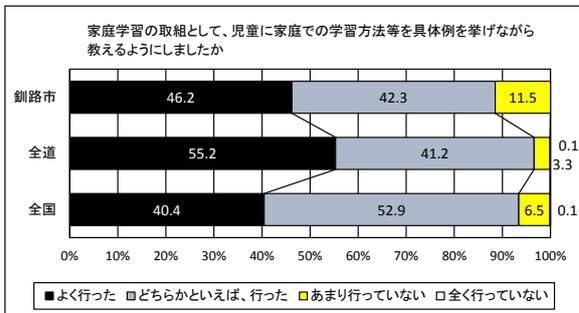
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【児童質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 算数Aでは、「量と測定」で全国を上回っている。 ○ 理科では、「生命」で全国を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数Bにおいて、全ての領域で全国を下回っていることから、誤答や途中までの考えなどを意図的に取り上げ、学級全体で考える活動を設定する等、「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を日常的に行う必要がある。
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「算数の授業の内容はよく分かる」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。 ○ 「平日、1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 「自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てを工夫して発表していた」と回答した児童の割合が、全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童に家庭学習での学習方法を具体例を挙げながら教えたことにより、家で、計画を立てて勉強したり、平日1日当たり1時間以上勉強したりする児童の割合が高くなり、教科の平均正答率において、5つの領域で全国を上回るなどの成果が見られたと考えられる。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の取組として、児童に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国を上回っている。 ○ 「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体として取り組んでいる」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語活動について、国語科だけではなく、各教科等を通じて、学校全体として取り組んでいるものの、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てを工夫して発表していたと回答する児童の割合が全国を下回っていることから、授業の中で話し合う場面を適切に位置付け、児童が資料を活用したり、話の組立てを工夫したりしながら発表できるよう指導する必要がある。

【釧路市の学力向上策】

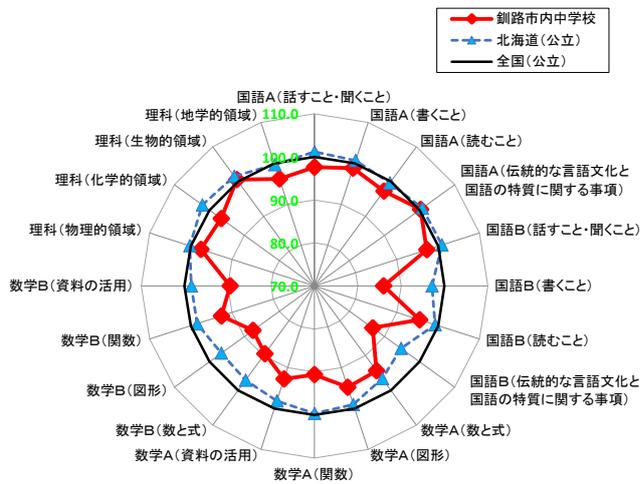
- ◎ 長期休業中の学習サポートの実施及び大学生ボランティアの活用 ◎ 放課後学習サポートの実施と支援員の派遣
- ◎ ほっかいどうチャレンジテスト(北海道教育委員会)の活用 ◎ 釧路教育研究センター研修講座の開催
- ◎ 釧路市標準学力検査の実施 ◎ 基礎学力検証改善委員会の開催 ◎ 学力向上セミナーの開催 ◎ 教務担当者研修会の開催
- ◎ 釧路市学校改善プラン(学校教育指導資料)の作成・公表(「釧路市の教育」発刊) ◎ 「家庭学習の手引き」の充実と配付
- ◎ 分かりやすい授業の取組(ICTを活用した授業研究及び実践) ◎ 生活リズムチェックシートの活用拡大
- ◎ 学習規律(釧路市スタンダード)の提示と実践 ◎ 「授業改善の視点」の提示と実践 ◎ 授業進度・時数チェックの実施

■釧路市内中学校の状況及び学力向上策(学校数:15校、生徒数:1195人)

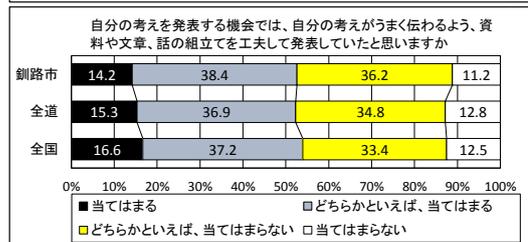
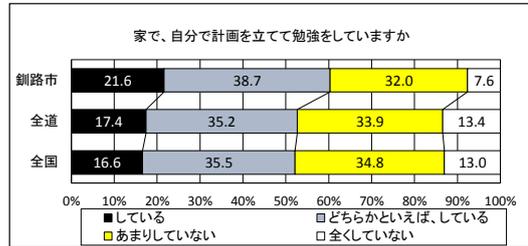
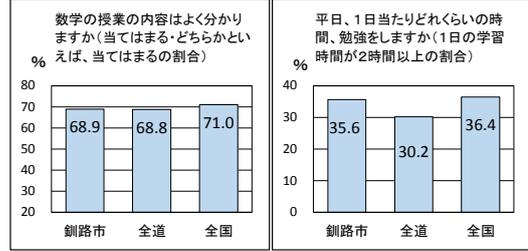
【教科全体の状況】

教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの

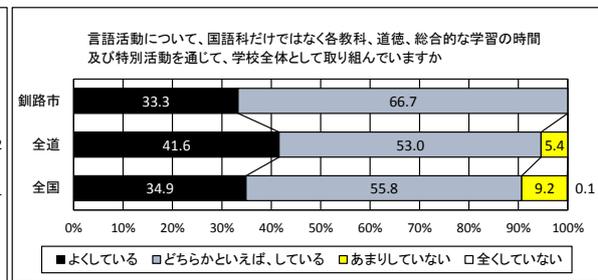
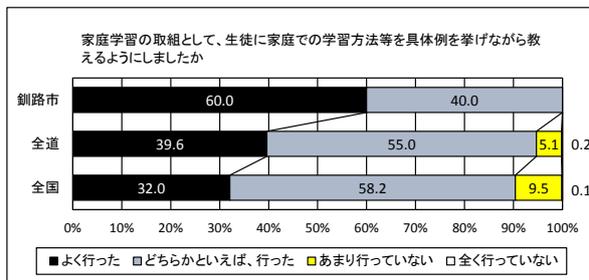
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



【生徒質問紙調査】



【学校質問紙調査】



【分析】

教科	分析内容
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語Aでは、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国を上回っている。 ○ 数学Aでは、「図形」で全国に最も近くなっている。 ○ 理科では、「生物学的領域」で全国を上回っている。
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「数学の授業の内容はよく分かる」と回答した生徒の割合が、全道を上回っている。 ○ 「平日、1日当たり2時間以上勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全道を上回っている。 ○ 「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「家庭学習の取組として、生徒に家庭での学習方法を具体例を挙げながら教えるようにした」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。 ○ 全ての学校が、「言語活動について、国語科だけではなく、各教科、道徳、総合的な学習の時間及び特別活動を通じて、学校全体で取り組んでいる」と回答している。

【釧路市の学力向上策】

- ◎ 長期休業中の学習サポートの実施及び大学生ボランティアの活用
- ◎ 放課後学習サポートの実施と支援員の派遣
- ◎ ほっかいどうチャレンジテスト(北海道教育委員会)の活用
- ◎ 釧路教育研究センター研修講座の開催
- ◎ 釧路市標準学力検査の実施
- ◎ 基礎学力検証改善委員会の開催
- ◎ 学力向上セミナーの開催
- ◎ 教務担当者研修会の開催
- ◎ 釧路市学校改善プラン(学校教育指導資料)の作成・公表(「釧路市の教育」発刊)
- ◎ 「家庭学習の手引き」の充実と配付
- ◎ 分かりやすい授業の取組(ICTを活用した授業研究及び実践)
- ◎ 生活リズムチェックシートの活用拡大
- ◎ 学習規律(釧路市スタンダード)の提示と実践
- ◎ 「授業改善の視点」の提示と実践
- ◎ 授業進度・時数チェックの実施